

## (1) 答申

平成28年2月5日

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市公設水産地方卸売市場施設のあり方検討について  
(答申)

平成27年3月9日付けで諮問のありましたことについては、別紙のとおり答申いたします。

### 小田原市卸売市場審議会

会 長	野見山	敏	雄
副会長	浦 井	貫	之
委 員	米 山	典	行
	秋 山	昌	光
	川 口	忠	弘
	古 川	孝	昭
	清 水	真	司
	高 橋	征	人
	沼 田	照	義
	金 井	保	江
	柴 田	美和	子
	吉 永	秀	輔
	竹 内	洋	子
	遠 藤	康	弘
	栗 本	公	恵

# 答 申

## 【審議会としての結論】

### ① 再整備主体（公設の継続性）

小田原市公設水産地方卸売市場（以下「水産市場」という。）は地域漁業のみならず、流通関連業者、その他の関連産業に大きな影響を与えており、今後とも水産市場機能を保持していく必要があります。

また、水産市場は、水産物の生産拠点、産地市場としての機能だけでなく、神奈川県西部3市9町の約56万人の食を支えるとともに、首都圏にも流通させるなど、広範囲な消費地市場としての役割も果たしています。さらに、漁業関係者、市場関係者、水産加工業関係者等と連携を図りながら、水産振興を推進していく上で、行政が果たす役割は重要となっています。

このような中、水産市場に求められる信頼性や公正性、継続性、安定性、安全性及び機能面においては、小田原市という公的機関の監視・指導により担保されることで、安心・安全の確保につながっています。また、高度衛生管理等の食品の安定性も担保されやすくなります。

このことから、水産市場は地域産業に与える影響範囲の広さを考えても、小田原市が開設者となり再整備することが望ましいと考えます。

### ② 再整備を目指すコンセプト骨子

今後の水産市場の再整備の検討を行う上で、次に掲げるコンセプト骨子を踏まえ、検討を進めていただきたい。

## 「将来像：地域が潤い、豊かになる、にぎわい水産市場」

### 4つの柱

【1】賑わいある生産・消費の拠点市場

【2】安心・安全な水産物の供給市場

【3】適正な市場取引と経営の近代化した市場

【4】未来に向かって持続可能な市場

## 付帯意見

今後、再整備を検討するに当たっては、目指すコンセプト骨子を踏まえるとともに、国が策定している「卸売市場整備基本方針」及び県が策定している「神奈川県卸売市場整備計画」に即し、その実現可能性も含め、具体化することが重要であります。

また、再整備に当たっては、多額な費用を要することから、国庫補助や県支出金等各種補助制度及び受益者・施設利用者負担等の財源確保についても研究、検討が必要であります。

このように、重要な課題が多い状況であるので、今後、市場関係者等と連携を密にし、小田原市卸売市場審議会水産市場検討部会が取りまとめた「小田原市公設水産地方卸売市場施設のあり方検討についての報告書」を踏まえ、再整備の検討を継続することを意見として付します。

## (2) 答申（概要）

### 小田原市公設水産地方卸売市場施設のあり方検討の答申（概要）

#### あり方の検討経過

- 平成27年3月に小田原市長から小田原市卸売市場審議会に「水産市場の老朽化に対する市場整備の方向性と今後のあり方検討」を行う旨の諮問
- 諮問を受け、現地調査・ヒアリング・先進地視察を行い、小田原市卸売市場審議会1回、水産市場検討部会4回、水産市場検討作業部会4回を開催し、卸売市場の現状と課題、整備主体、あり方、整備の方向性、コンセプトを検討し、「水産市場再整備のあり方」をとりまとめ⇒平成28年2月に答申

#### 小田原市公設水産地方卸売市場の今後のあり方

##### 再整備の方向性

###### ①再整備主体（公設の継続性）

- ・小田原市公設水産地方卸売市場（以下「水産市場」という。）は地域漁業のみならず、流通関連業者、その他の関連産業に大きな影響を与えており、今後とも水産市場機能を保持していく必要がある。
- ・水産市場は、水産物の生産拠点、産地市場としての機能だけでなく、神奈川県西部3市9町の約56万人の食を支えるとともに、首都圏にも流通させるなど、広範囲な消費地市場としての役割がある。
- ・漁業関係者、市場関係者、水産加工業関係者等と連携を図りながら、水産振興を推進していく上で、行政が果たす役割は重要である。
- ・水産市場に求められる信頼性や公正性、継続性、安定性、安全性及び機能面においては、小田原市という公的機関の監視・指導により担保されることで、安心・安全の確保につながる。
- ・高度衛生管理等の食品の安定性も担保されやすい。



**水産市場は地域産業に与える影響範囲の広さを考えても、小田原市が開設者となり再整備することが望ましい。**

###### ②再整備コンセプト骨子

**「将来像：地域が潤い、豊かになる、にぎわい水産市場」**

- 賑わいある生産・消費の拠点市場
- 安心・安全な水産物の供給市場
- 適正な市場取引と経営の近代化した市場
- 未来に向かっての持続可能な市場

##### 付 帯 意 見

- 再整備の検討に当たっては、目指すコンセプト骨子を踏まえるとともに、国が策定している「卸売市場整備基本方針」及び県が策定している「神奈川県卸売市場整備計画」に即し、その実現可能性も含め、具体化することが重要である。
- 再整備には、多額な費用を要することから、国庫補助や県支出金等各種補助制度及び受益者・施設利用者負担等の財源確保についても研究、検討が必要である。



**今後、市場関係者等と連携を密にし、再整備の検討を継続することを意見として付す。**